

# 第13回中皮腫細胞診セミナー（大阪） プログラム

メインテーマ『中皮腫細胞診断に関する最新の知見と技術』

1日目（10月6日） 12：30～17：30

講演1 漿膜の構造と中皮細胞の刺激に対する多彩な挙動

公立学校共済組合関東中央病院 岡 輝明

講演2 中皮腫の診断と鑑別に有用な細胞所見（免疫組織化学も含めて）

東北大学病院 三浦 弘守

講演3 胸膜中皮腫の病理組織像～WHO・肺癌取り扱い規約第8版をふまえて～

東京女子医科大学八千代医療センター 廣島 健三

講演4 胸膜中皮腫の胸腔鏡所見

（スペシャルセミナー）

大阪はびきの医療センター 岡本 紀雄

講演5 中皮腫診断に役立つ免疫組織化学用一次抗体の最新情報

（スペシャルセミナー）

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 谷 洋一

講演6 中皮腫細胞診におけるPI6FISH・BAP1検査の実際

福岡大学病院 松本 慎二

講演7 セルブロックのup to date

公立昭和病院 濱川 真治

講演8 体腔液細胞診におけるLBCの有用性－術中迅速検体も含めて－

国立病院機構北海道がんセンター 平 紀代美

講演9 中皮腫診断におけるギムザ染色の有用性～Giemsa染色の理論と細胞像～

神戸常盤大学 島 榮

2日目（10月7日） 9：00～12：00

- ・細胞所見に関するミニレクチャー
- ・鏡検実習（15題）
- ・実習症例のグループディスカッション

※上記の講演の演題名は変更の可能性があります。